

広島市植物公園 見どころ案内

フクジュソウ

(キンポウゲ科)

天気の良いときだけ開きます。すぐ近くのユキワリイチゲも咲き始めました。節分草も咲き始めています。

ツバキ

(ツバキ科)

ほととぎす
「不如帰」など桃や赤花の品種のヤブツバキが咲き始めています。

ウメ

(バラ科)

冬至(とうじ)は、中国原産の早咲き品種。冬至のころから、白い一重の花を咲かせるため、この名がつけました。

対面にある、早咲き紅梅品種‘八重寒紅(やえかんこう)’も開花中です。

さらに奥にあるシダレ梅の品種‘藤牡丹枝垂れ’も咲きはじめています。

[日本庭園]

ヤマコウバシ

(クスノキ科)

落葉樹ですが、春先まで葉が枝に残るため、合格祈願「落ちない葉っぱ」として当園入口の売店で販売しています。

シナマンサク

(マンサク科)

中国原産。ねじれたリボンのような黄色い花弁です。色とりどりの園芸品種も咲き始めました。

クリスマスローズ

(キンポウゲ科)

ベゴニア温室南側で白、紅、緑などに色づいています。これから少しずつ彩られていきます。

カンザクラ

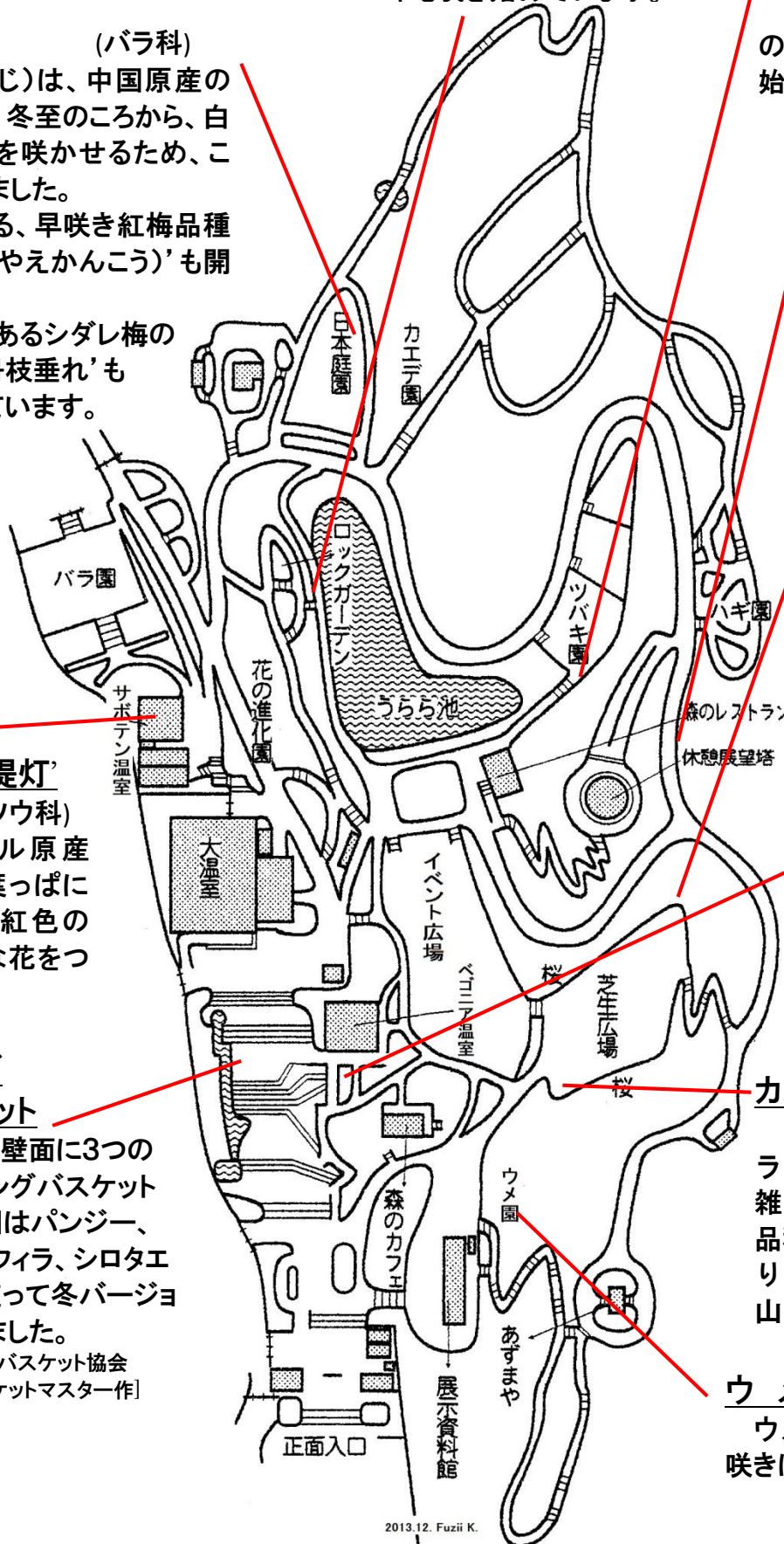
(バラ科)

カンヒザクラとヤマザクラないしオオシマザクラの雑種と考えられている栽培品種です。他のどのサクラよりも早く2~3月に枝先に沢山の桃色の花をつけます。

ウメ

(バラ科)

ウメ園では桃花や白花が咲きほこっています。



カラコエ

‘紅提灯’

(ベンケイソウ科)

マダガスカル原産で、小さな葉っぱに不釣り合いの紅色の提灯のような花をつけています。

ハンギング

バスケット

カスケード壁面に3つの巨大ハンギングバスケットを展示。今回はパンジー、ツタ、エレモフィラ、シロタエギクなどを使って冬バージョンに仕上げました。

[日本ハンギングバスケット協会
ハンギングバスケットマスター作]